



光明だより

12月
(冬休み号)

令和2年(2020年)12月25日 宝塚市立光明小学校

冬休みを迎えるにあたって

学校長 平井 仁司

今日で2学期が終わります。今年は、コロナ禍の中、様々な制約がある中、今までにない生活を送ることとなりましたが、光明小の子どもたちは、友だちとの関わりを大事にしながら、楽しみ合って生活していました。保護者のみなさまには、ご家庭での健康観察をはじめ、お子さまへの励ましや支援をしてくださり、お礼申し上げます。



クリスマス集会

6月1日から学校が再開し、2週間あまりの夏休み後、8月18日から12月25日までの4ヶ月あまり、学校に通い続ける、と言う事は、私たちも経験のない事です。子どもたちは本当によく頑張って学校に通ってきました。こんなに長い間通い続けたことは、これからは様々な問題にぶち当たった時に、乗り越えられるだけの心の強さがついたと思います。お子さまに、「よく頑張ったね。」と、ほめてあげてください。

さて、いつもより少し短い冬休みとなります。例年通りにはいかない年末年始になりますが、元気な姿で1月5日の3学期を迎えられるようにしてください。そこで、各家庭にお願いがあります。それは、小学生全般における喫緊の問題(トラブル)となっています『オンラインゲーム』でのルールづくりです。ここで言う「ルール」とは、ゲームを通しての人現関係形成のためのルールです。ゲームである以上、勝ち負けがあり、勝つことに喜びが得られるものですが、そこには相手(敵)があり、その相手を操作しているのは人です。「敵を倒す=相手(人)を侮辱する」となってしまう、友だち関係が崩れたり、架空のゲームの世界と現実の成果が混濁したりすることが起きています。このことは、中学になると、SNSによるトラブルにもつながっています。SNS上の文字(言葉)だけでは、自分の本当の思いは十分に伝わらないことがありますが、会話となると、声の響きや口調で伝わりやすくなり、実際に会うと、顔の表情でよりわかりやすくなります。SNSのトラブルも、解決に向けては、直接の対話が必要になります。



3年もちつき体験

話は変わりますが、私が小学生の頃、サービス業に勤務する父との会話で、「会社でおしよくじけんがあって、……。」という言葉聞いて、「えっ、会社で汚職事件？」と真剣に驚き、びっくりしたことを思い出しました。また、「きょうふのみそしる」「くるまでまとう」などの書かれた本で楽しんでいた頃もありました。漢字に書き換えると全く意味が変わりますね。

ゲームで楽しめるのは、一緒にしてくれる相手がいるからです。相手を大事にしながら、楽しく過ごしましょう。そのためのルールづくりは相手を大事にすることにつながります。楽しいゲームについてお家でも話し合ってください。

【1月当初の予定】

- 1月5日(火)3学期始業式 [11:15 下校]
- 6日(水)~8日(金)給食開始 [13:15 下校]
- 12日(火)~通常授業
- 15日(金)百人一首・カルタ大会
- ※今年度は感染予防対策として、保護者参観はなく、児童のみで行います。

※図工展、オープンスクールにつきましては、新型コロナウイルス感染拡大の状況を見て、1月にあらためてお知らせいたします。